

## 令和2年度第5回仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会議事要旨

日 時：令和3年3月2日（火）

13時30分～16時30分

場 所：青葉区役所7階会議室

出 席：島田委員長、青木副委員長、小川委員、  
加藤委員、白石委員

※過半数の出席により委員会成立

### 1 開会

2 挨拶 仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会委員長 島田 福男

### 3 議事

(1) 議事録署名人選定 白石委員

(2) 事前説明

(3) 令和3年度まちづくり活動助成申込事業 事業計画説明会

◇各団体プレゼンテーション

◇質疑応答意見等

①東北 KPOPPARK 実行委員会

②東北 BRAZILFESTA 実行委員会

委員 2つのイベントということでなかなかボリュームが大変だったかと思うが、1つ確認である。ブラジルと韓国にスポットを当てた理由は何か。

説明者 震災前のため9年前だが、韓国にはすごくお世話になった。私が、動画を取るために韓国へ行った時に、言葉が分からずバスに乗って迷子になってしまった。その時に、韓国の赤十字の方が話し掛けてくれ、家まで案内してくれた。それで、そういう話を BUTAKAN の社長に色々していたら、ちょうど KPOP のダンスにすごく力を入れているということ、結構 KPOP のダンス、スタジオが盛り上がってきていたこともあり、韓国のメンバーとも、何か日韓交流のイベントができれば面白いのではないかとということで、企画させてもらった。また、BRAZILFESTA に関しては、一緒に主催するアンドレア先生やカポエラのメンバーが、仙台でブラジルを題材にしたイベントがなかなかないということで、オリンピックの開催中に良いタイミングとしてやることができたらいいの思いで企画した。

委員 気になったことは、どちらもダンスの発表があるということだが、そのダンスを発表される団体は公募ではないのか。既に決まっている団体だけが出場できるのか。

説明者 今から公募する予定である。チラシが未だできていないため、企画の段階で、そういうことをやるのであれば参加すると言ってもらえたところを載せただけである。もちろん仙台市の一般の中高生や子どもも参加できるようにする。

委員 それは良かった。多くの方が KPOP やダンスにチャレンジしているということと、

行政の支援をいただくということで、公的にできる限り色々な方が参加できるような仕組みがあると良いと思っている。また、もう1つ、コロナ禍ということで、海外からこのイベントを目掛けて、例えば出場するために来られる方等が、県外から多く来た時に、7月の状況によっては延期や中止のようなことも念頭に入れているのか。また、そういう方が入るための何か感染予防は考えているか。

説明者 7月18日と25日で開催する予定ではいるが、仙台市の状況、日本の状況によっては、延期も考えている。ただ、中止は考えていない。少し時期を見て、落ち着いたら秋口にやる等で対応したい。また、海外からの出演者は今のところ未だいないが、もし出演するとなれば、2週間様子を見てもらう等考えながらやろうと思っている。

委員 行き来ができないからこそ、こういうイベントの大切さが出てくると思うため、ぜひ頑張ってもらいたい。

委員 国際交流ということで、大変素晴らしいと思うが、予算を見ると、外部出演料ということで30万円と金額が多いが、これはゲストとして呼ぶのか。

説明者 一応他県も多いため、出演費と交通費でと考えている。

委員 それからもう1つ、7月に1週間置いて2つのイベントをやるということで、せっかくの国際交流として、イベントだけで終わらせるのは少しもったいないと思うが、何かその後も交流を持てるような企画は検討しているか。

説明者 何かイベントの後にアフターで交流するという事は、今のところ考えていない。毎年開催する予定のため、また会いましょうという感じにしたい。また、ポルトガル語講座や韓国語講座の時の先生達には、例えば、興味のある人と繋いであげるといった感じでは考えている。その後に特定して何かの行事をやるということは、今の時点では考えていない。

委員 フライヤーを作成するという事だが、何部位で、どのようなところに、広報の協力をお願いする予定か。今のところ見通しはあるか。

説明者 協賛してもらっている各飲食店や、参加内定しているダンススタジオなどに置いてもらう予定である。

委員 また、野外で開催するのは今回が初めてという話であったが、青葉の風テラスを選んだ理由は何か。

説明者 野外だけの屋根があるため野外でもイベントができると聞き、台風の日の下見に行った。その時に、少し雨に濡れる部分はあったが、パーセンテージとしては、80%位は使える場所があったため、雨天でもできると思い決めた。

委員 今後も毎年続けていくという話だが、それは同じ場所での開催か、それとも東北等の他の地域も含めての継続開催なのかその辺りはどう考えているか。

説明者 目標は、勾当台公園等の少し大きなところを目指して頑張りたいと思っている。県外に出た開催は未定であるが、宮城で一番大きな勾当台公園で、いずれはフリーで大きなイベントを開催したいと思っている。

### ③「落合栗生地区歴史めぐり」運営委員会

委員 歴史と史跡を活かした地域づくりということで、大変良いことをやっていると思う

が、2点質問である。1点目は、令和2年度も、ボランティアガイドの育成を行い、これは会員17名の中からということで、令和3年度もその会員の中から、ボランティアガイドの育成を挙げているが、令和2年度で何名位ガイドのできる方ができ、また、令和3年度はどのくらいの人数を目指しているか。また、2点目は、予算のことだが、令和2年度も4,500部のチラシを作成し、町内会等色々なところに配り、今年も4,500部同じ枚数で支出のところを見ると金額が大分変わっているが、これは物価の上昇か。

説明者1 ボランティアガイドについてだが、なかなかそこまで進んでいないのが現状である。しっかりと活動できる会員というは未だ2~3人で、令和2年度のボランティア育成に関しては、3名程度である。しっかりと何も見ないで説明できるとなると、やはり歴史というのは、知ると誰かに話したくなるというもののため、こういう学習をする中で、会員が自分達もという形になってきている。今年は全員がボランティアできるくらいに頑張っていきたいと考えている。人づくりはなかなか難しく、一番時間がかかることと思うが、楽しみながらやっていきたい。

説明者2 予算については、むしろ令和3年度に申告している数字の方が現実的である。実は、昨年はこの印刷において、無償でやってもらったという経緯があった。無償でやっていただいたのは、青葉区中央市民センターで少し他のものを刷る際に一緒にやっていただいたという、協力していただいたものである。それを計画の段階で今年もというのは少し厚かましいと思い、まともな金額を載せた。

委員 まず1点、感想であるが、歴史の資源を探すとあったが、こういったところで本を使って、色々な史跡を見つけるということもあるが、それ以外に古くから住んでいる住民の方にヒアリングをしてみたいか。意外に本に載っていない、外伝的なものが出てきてなかなか面白いかなと思うため、ご検討いただければと思う。

説明者1 発表の中にはなかったが、実際に会員の中、また住民の方に色々なお話を聞きながら、私などは30年近く住んでいるが、全然知らないことが多くて、実際に昔のことを知っている方がたくさんいらっしゃるため、そういう方たちのお話を交えながら大変興味深く、地元塾も行って来た。今は未だ色々な話が聞ける人達がたくさんいるため、今後もそういう活動をやっていきたいと考えている。

委員 そういう話を案内板にするのか、本にするのか分からないが、後に残るような形でやられると非常によろしいかと思う。また、もう一つはSNS利用されるということだが、SNSも色々あるため、利用者層が結構違ったりするが、どういったSNSを利用する予定か。

説明者2 私達のメンバーは結構高齢の方が多いため、あまり得意とする分野ではないが、勉強しながらやっているというのは事実で、今現在は主にFacebookを使っている。どちらかというと、その分野は、そこに力を入れても少し限界が見えているので、ただ時代の流れ上やっつけようかと会員同士で話している。

委員 せっかくの案内板なので、地元に行くきっかけになるような、広報の1つとしてSNSを上手く使っていればと思う。

委員 先ほど、ボランティア育成の研修のお話等出ていたが、実施内容を拝見すると、3回程育成のための学習を予定されているが、内容は何か。どのような学びの形式をと

っているのか。

説明者 1 1つ具体的なものは、やはり現地に行って説明する流れを1つしたいなということや、先ほどの昔語りではないが、そういう学習をする中で、みんなで考えながら、どんな内容にしていくのが良いかもっと煮詰めて、難しいだけではなく、少し楽しく説明ができるような形にしていきたいと考えている。

委員 一応予算の方では、案内板や広報等そういったものの計画になっていると思うが、その研修に係る予算の活かし方もあると思う。現地で皆さんが考えながら、色々と工夫されているところもあったが、先ほどの地元の方に協力を仰いでみたり、そういったものを何か形に残し、またテキスト化するような循環があると良いと思う。楽しみながらそういったものも皆さんの次のガイドに役立つ道具になるかなと思ったため、先のご予定でも、少しそういった可能性もあるのであれば、こういった助成金の活かし方もご検討いただくと良いのではないかと思った。

#### ④「折立素敵物語実行委員会」

委員 今回の申請の中で予算に係るところをお伺いするが、写真で見ていただいたピカボードは一度揃えてまた来年以降も字や絵を組みかえて活用できる素材か。

説明者 ピカボードは60cm×90cm位の大きさで、電気が入っている。電気が通っているような盤の上に、ちくちくしたものをさすことによって、字を書いたり、絵を描いたりできる。1回作ると、来年そのままでも使えるが、また別な絵柄にするということもできる。第2回の去年は、イルミネーションのコードを字のように貼って、所々アルミホイルを使って電飾を消したが、電気をつけるとどうしても駄目であった。このピカボードを後から教えていただき、繰り返しの使用も可能で、絵柄の変更も自由にできるということで、良いなと思い採用した次第である。

委員 今回はこの材料費部分が大きかったため、一度揃えてしばらく活用できるということであれば、子どもたちの発案で、様々な絵柄も工夫できるのかなと思う。

委員 事前に小学生と一緒に話し合い、実行委員会形式でやられていることは素晴らしいと思う。令和3年度は小学生にどのように実行委員会に参加していただくのか、どのような交流を予定しているのか。

説明者 小学生との関わりだけではなく、中学生とも今年は新たに交流を増やしていきたい。小学生とは、令和2年度はコロナの関係でできなかったが、学校の方に出前授業というような形で、実行委員会での活動の様子を子どもたちにお話しながら、この折立地区地域というのはこういうところだということを知らせて、みんなに覚えておいてもらいたいということもあり、そういった形で小学生と接触を持ちたいと思っている。ただ、小学生も1年生～6年生までかということ、最初は5～6年生の生徒達に対してやっていたもののため、今年についてもコロナが静かになって、活動ができれば、そういった形で出前授業を展開していきたいと思っている。

委員 交流することで、当日の参加人数もすごく増えるのではないかと思うため、ぜひ頑張ってほしい。

#### ⑤一般社団法人 IKI ZEN

委員 昨年が2回開催したとのことだが、その2回のイベント内容は同じか、それとも違うのか。

説明者 初回は、飲食店等テイクアウト品の出品等はなかった。主催者の持ち出しでやっていたため、ただイベントをやったところでアンケート等も取っていない。

委員 もう一つ出てきた防災減災に関して、今年のイベントアンケートでも出てきたということだが、福祉大の防災減災のセンターで、例えば防災体操みたいなそういうコンテンツも結構持っているため、そういったところとコラボしてみるのも面白いと思う。

説明者 その辺の方をもしご紹介いただければアプローチし、何か一緒にできることがないか模索したい。

委員 東北福祉大防災等で検索すると出てくると思う。もしご興味があればやってみてほしい。

委員 2年目は、イベントの協賛費、それから出展費等も考慮するというところで、事業がずっと継続できれば素晴らしいことだと思っている。そこで2点質問である。1点目は、アンケート調査費が予算の中では大きなウェイトを占めているが、昨年は何人位が回答したのか、また、今年は何人位を予定して10万円の予算を設けているのかということである。それから2点目が、役員が4人ということだが、イベントの他に防災減災等あっちこっち手を広げ過ぎて、行動が縛られないか少し心配になった。その辺の見通しについてお話いただけたらと思う。

説明者 アンケート調査費について、本年度は2回のイベントそれぞれでとり、1回につき5万円ということ考えている。そこが弊社でもアンケート調査事業をやっているため、弊社の一番低い金額の規定に合わせるとその金額になるという感じである。対象は、昨年度が60名位であったため、本年度もほぼ来た方々にはアンケートを入場時に、Googleフォームというフォームを使用して、全て入力していただきたいと思っている。実は、昨年は紙も用意したのだが、紙での回答はそれほどなく、皆さん入場時に全て入力していただけたので、本年度も同じ方式でいけば、ある程度の母数は取れると考えている。また、事業についてだが、確かに人数を考えたときには色々手を広げている形にはなるが、できるところですずっとやっているため、今年度も変わらずここに記載させていただいたことは、実施していこうと考えている。

#### ⑥特定非営利活動法人珀杜

委員 いくつかお聞きしたいのだが、ここの林自体は市立ということは仙台市の所有か。管理は青陵中学校か。

説明者 厳密なところ仙台市のものであるため、本当であれば市に管理していただきたいところだが、持ち主としては学校林のため仙台青陵である。ただ、青陵の教師は授業で連れていきたいとは思っているが、メンテナンス、自然保護はできない。もちろん事務局から市教委に、かなり危ないのでどうにかしてほしいというお願いはしている。地域接点というか、道路を挟んで法面がやはり崩れてきている。土砂や木が生い茂るとやはり地域住民の方から苦情が来る。その苦情が来ると、外側の伐採は少し

したり、崩れないようにネットを張ったりと過去にはそういうことをやっているのだが、なかなかそれ以上のことはやっていただけない。私達とくよみという市民センターで活動している森が好きな方々のグループがあるのだが、森に入っては観察をし、そのついでに手入れをしている。私達もボランティアで始めたことによって、昨年度の12月に、市教委の方に動いていただき、大規模な伐採が初めて行われた。

委員 管理は学校か。苦情は学校に来たのか。

説明者 学校である。

委員 それを直したのは、仙台市か。

説明者 お金は仙台市からである。

委員 普段、ゲートが施錠されているということだが、施錠の鍵は誰が持っているか。

説明者 鍵の管理は青陵の事務室である。

委員 学校で自由に学校林として使えることは使えるのか。

説明者 そうである。例えば、仙台市民、市の方であれば、森に入りたいということ言えば、事務室で鍵をお借りして入ることはできる。

委員 窓口は学校か。

説明者 窓口は学校である。

委員 それからもう1点、百年の杜から活動の認定を受けて、これは助成を受けたのか。

説明者 助成は受けていない。認定を受けているだけである。

委員 そういうガソリン代等の需用費はどうなっているか。

説明者 訂正をさせていただくと、もしここで駄目だったら何かしらの助成金で支援していただきたいという趣旨である。自分達で作業することはできても、お金は長い目で見るとなかなか先立つものがないと活動ができない。

委員 チェーンソーで伐採したりとあるが、その経費はどこからか。

説明者 今のところは自費である。

委員 宮城県の緑化推進委員会から森林環境教育事業費として助成の決定がされたとあるが、これはいくらか。

説明者 30万円である。市教委の方に、例えば市の学校なので、こういうことをお願いしますと学校側からももちろん申請は出しているが、やはり優先度があって、なかなかそう簡単にお金が回ってこないのが現状である。その中広場だけは、春のコンサートを行うので、現状の広場のピクニックテーブル8脚を少し綺麗にしたいということで、1脚分のお値段になるかと思っている。ピクニックテーブルを替えさせていただいたのち、伐採を行ったところには植樹もしていきたいと思っている。その植樹のための苗木を買う予算として申請した。

委員 例えば、作業をして怪我をした場合や、事故に遭った場合などの補償はあるか。

説明者 ボランティア保険に全員入っている。

委員 1つ確認だが、この活動内容に関して学校側と考え方は同じか。

説明者 そう認識している。定期的に学校長と、前期後期の教頭先生、事務室長と私の5名で、話し合いや進捗状況、活動報告等は毎回させていただいている。何か少しでも意に沿わないことがあればご意見くださいということによってある。最近も、助成金の

話でこういうことをしますという話はしている。もし通ったら業者さんの委託になるため、委託業者さんが学校の敷地内に入るという許可もあるため、こまめに学校とはコンタクトを取っている。

委員 もう1点、ピクニックテーブル20万円は見積もりを取っての話か。

説明者 見積は取っていない。実際にできると決まっていないことと、年度末に業者さんが動きづらい状態ということで、見積依頼をしていない。ここにお願ひしようかなということはもちろん考えている。あとは、メンバーの中に市の職員がいるため、実際市でやっている時のカタログ等を見させていただき、最低でも20万円かなと聞いている。ピンキリで上を見たらいっぱいあるが、20万円あれば一脚はできるかなと思っている。今あるものを撤去して設置する人件費も含めて20万円あれば、2脚はできなくても1脚が一番安い方法でできたらと考えている。

委員 蜂に関しては、かなり危険で、最悪、命の危険に及ぶ可能性もあるため、やらないよりはということではなく、完全に駆除した方がよろしいかと思う。

説明者 一度だけ過去に、蜂が学校舎に入り新聞沙汰になったが、蜂が入ると、駆除のために市が動き、その蜂がいたであろう木に、何か寄せ付けないよう撒いていった。そういうことをされたことはあったが、森の中の方まではほとんど使われていないためできていない。蜂が出てからでは危ないため、出る前に駆除し、校長先生の意見も同じで、いずれは施錠せずに常にオープンにして、市民の皆さん、特に近所の地域の人達にどうぞと考えている。そうするためにはやはり、市が動くのを待つよりも、出る前に私達がという考えでやっている。

委員 場合によっては恐らく、テーブルの方の予算を減らしてでも業者さんに蜂の駆除をお願いするとした方がよろしいかと思う。もし観察会をやっている時に蜂に刺されたりすると、洒落にならない。責任がどこにあるのかということにもなるため心配である。その辺は十分に気をつけていただきたい。

説明者 その通りである。専門の方等にも話を聞いて、対策していきたいと思う。

委員 学校のことを考えられた保護者やその他の皆さんでNPOまで設立されたということで素晴らしいと思う。ただ、その権利を受ける側の公益性というところで、門が閉まっていて誰もが入るという話ではなかったが、学校の敷地内から森に入るとなると、例えば地域の方が気軽に訪れ利用できるようになってほしいという学校の方針があったとしても、気軽に入れるような状況になるかどうかは、学校側の責任もあるのではないかと思う。

説明者 門は常に開いていて、守衛さんが24時間いる学校の敷地内の森である。先ほどお見せした門は一つだが、実は東側と南側にあり、福祉大の方とも繋がっている。福祉大の方からは勝手にという語弊があるが、散歩に来られる方がいるくらい入ることのできる場所である。もう1箇所道路側に地元の方で森をよく知っている方等が入る場所がある。ただ、今のところここは青陵の敷地という看板を立てているが、学校の意思で、もし森がきちんと活性化して安全な森になればそういった看板は、敷地である表記はするであろうが、どうぞお入りくださいということは可能と考える。

委員 一般の方が自由に入るような看板を設置して、市民の方が気軽に入れる森になると

というのは、現時点での可能性としてどれくらいか。

説明者 現時点では、仙台市の誰もが入れる立ち位置である。ただ、所有者が学校林ということである。

委員 学校の安全性やセキュリティの問題もあると思うが、森から学校に誰かが入ったら、セキュリティもきちんとしていないと、両面からというのは難しいと思う。

説明者 先日話したところ、校長先生もそこだけは今すぐに難しいところとのことであった。

委員 また、広場を使って児童を呼んでのイベントというのは、今のところ予定では1回、何人位の児童を呼んでのイベントか。

説明者 学校の生徒でない方の場合は、30~40名が1回で集まれば良いと考えている。例えば、もし100名来るとなったら、一回の人数は、コロナの関係もあるため2~3回と日にちを分けて開催しようと思っている。

委員 イベントの予算については、今回計上されていないということか。

説明者 そうである。助成対象額の中には計上していない。団体の広告費として計上している。

#### ⑦定禅寺リビングストリートプロジェクト

委員 木製の椅子とテーブルはあの通りにすごく合っていると感じる。仙台市から借用していたものが老朽化したとのことだが、木製で外へ出すとなると、やはり耐久性が問題になってくると思う。新しく購入して大体どのくらい持つものなのか。また、かなりの量になるが、椅子やテーブル、テント等の管理、保管は、皆さんで分担して行うと思うが、その辺り心配はないか。

説明者 1 まず先に保管についてだが、お借りする場合は、社会実験が終わった都度仙台市に返していたが、今後、私の方で用意するというときには、イベントをやらない時の保管場所についてはもちろん考えていて、既に確保している。敷地内に全て集めて保管するという場所を一つ確保しているため、その辺は心配ない。耐久性については、資料に書いているもので、使って3~4年のものである。今後10年またできるのかというと、なかなか難しいと思う。ただやはり保管が一番大事と思うため、雨風に当たらないところできちんと保管し、長く使えるように考えていく。

委員 もう1点質問だが、道路使用許可の手数料が12回で結構な金額になっているが、例えば1年ごとの使用の許可というのは取れないのか。

説明者 1 マルシェのイベントごとに、使用料を取っているため、この金額になる。

委員 年間で計画として1回で申請はできないものか。

説明者 1 一応、新年度の年間計画はある程度出している。イベントの兼ね合いで、確実に取れるかというところ、やはりコロナの影響もあるため、1年間これで絶対やりますというものを現時点で出すことは難しいと思っている。

説明者 2 また、出すお店がどういうお店かということも一緒に申請しなければならないため、やはりマルシェを月1回開催するごとに、出していかなければならないところがある。

委員 地域のシンボルである定禅寺通りを活用するというのはすごく大切なことで、素敵



な活動と思うのだが、こういう活動をやっているという広報はしているのか。

説明者 1 広報は仙台市で、その都度発信している。去年はポスターも貼らせていただいた。

委員 ポスターはどの辺りに貼ったのか。

説明者 1 去年は地下鉄と、メディアテーク等に貼った。市民会館にも貼らせていただいた。

委員 実際にベンチ利用された方は、どういった方が多かったのか。地元の地域の方が多かったか。

説明者 1 アンケート結果からは、地元の方が多かった。最初の実験目的がやはり地域の皆様のリビングを目指すということであり、地元の方が多かったと感じている。あとはわざわざこれを目指して行きたいという方に向けては今後、特別に発信をしていきたいと思っている。

委員 せっかくメディアテークのような不特定多数の方が来る施設があるので、ぜひその辺とも上手くコラボしていただければと思う。

委員 一斉清掃を皆でしている写真も拝見できたが、そういう雰囲気がそれぞれの催し等にも出ていると知ることができてすごく良かった。書類のアピールポイントのページに、今後は会員も増やしていきたい、自主的な活動を発展させていきたいというようなことが書かれているが、今回は主に備品関係の申請内容のため、活動そのものを今後どのように進めていきたいのか、その辺今の段階で何か構想があるようであれば教えていただきたいと思う。

説明者 1 定禅寺通りに面したところのスタートメンバーが、立町裏の通り、春日町の通り、あとは勾当台公園の方までの通りの皆様と一体になり、色々とイベントを行っている。1階路面店だけではなくそのビル、1階～3階店の方々も呼び込めるような、地下にお店のある方もいるため、そういうところも一緒になってやっていきたいと思っている。

委員 特に事業をされている方以外に、交流スペースで何かしてみたい個人の方とか、一緒にやってみたいという会員等はいるのか。

説明者 1 チャレンジしていただく場所ということも1つ目標としている。今、若い方でもお店を構えずにやっている方もいるため、私の業界で話をすると、洋菓子協会が洋菓子の関係でも、ネット販売だけに固執している方もいる。そういう方がもしも、こういうところで少しだけ路面店を数日お借りしてチャレンジしたいという場合に一緒にやっていきたいという活動である。

#### ⑧一般社団法人 アート・インクルージョン

委員 今年度は、コロナ禍ということでなかなか活動も大変だったかと思う。令和3年度の活動の中で、主に予算についてお聞きしたい。1つは協賛、共催団体の謝礼が10,000円とあるが、共催でも、やはり謝礼は出さないといけないのか。

説明者 共催というよりは、協力という形になっている。

委員 それからアーケードの利用料が結構大きいと思う。20,000円で月2回ということは40,000円×6回で240,000円。これは助成金の約半額になっているが、もう少し何か工夫ができないか。また、活動報告書の印刷代として、130ページの300部で194,620円と結構値段が張るものだが、どのような報告書を考えているのか。

説明者 まず、アーケードの利用料についてだが、ブランドームのアーケードは敷居が高く、一応1日20,000円と言われていて、なかなか割引、交渉が難しい部分である。そのため、頻繁に出向いて関係を作ることによって、交渉していきたいなどは思っている。また、事業報告書についてだが、1年目の時に、こちらの助成金を活用して作成し、その時と同じ金額で申請している。利用者さん一人一人のページがあることや、活動内容が本当にこまめに載っていて、素晴らしい冊子が出来上がった。事業所を訪れた方や、同じ事業者の方等、色々な方が感動されて、皆さんほしいということになる。本当に素晴らしいものが出来、アピールするこちら側も、やはり色々なことが伝わるかなと思い申請した。

委員 1つ確認だが、どどこ市に出店を希望する場合、公募か。

説明者 コロナの前までは公募であったが、コロナになってからは今まで出ていただいた方に声掛けしてということにしている。

委員 どどこ市をやりますといった広報は何かやっているか。

説明者 ラジオであったり、無料のリビング仙台に載せていただいたり、毎年何かしらで広報している。今回のアート・インクルージョン展もそうだが、新聞社等に色々と投げかけはしているが、どうしても3.11と重なってしまい、今回はなかなか広報できずにいる。努力はしたいと思う。

#### (4) 令和3年度まちづくり活動助成申込事業の評価及び選考

##### ①東北 KPOPPARK 実行委員会

(ア) 協議結果：助成事業として採択しない。

(イ) 評価委員からの意見

- ・青葉の風テラスを活用した日韓の文化交流イベントとして、新たなコミュニティ形成を目指す事業であることは評価できるが、年1回のイベント開催で国際交流を図るという目的が果たせるかが不十分であり、地域への広がり、地域づくり・まちづくりへのつながりがまちづくり活動助成の対象とするには十分でないと判断する。

##### ②東北 BRAZILFESTA 実行委員会

(ア) 協議結果：助成事業として採択しない。

(イ) 評価委員からの意見

- ・青葉の風テラスを活用した日伯の文化交流イベントとして、新たなコミュニティ形成を目指す事業であることは評価できるが、年1回のイベント開催で国際交流を図るという目的が果たせるかが不十分であり、地域への広がり、地域づくり・まちづくりへのつながりがまちづくり活動助成の対象とするには十分でないと判断する。

##### ③「落合栗生地区歴史めぐり」運営委員会

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの意見

- ・案内板の設置にとどまらず、案内板の説明をするガイドボランティアの育成も事業

に組み込まれているため、今後の活動の広がり期待したい。

- ・地域の文化や歴史を学ぶにあたり、地域の外伝として古くからの住民へヒアリングすることも検討してほしい。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 31 万 3 千円とすることが妥当である。

#### ④「折立素敵物語実行委員会」

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの意見

- ・広報について、地域住民のみならず、地域外の方々へも事業の魅力を発信し、幅広い方が事業に関わるきっかけづくりが行われることに期待したい。
- ・自走に向けた取り組みとして、賛助金をさらに増やす工夫を検討してほしい。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 29 万 7 千円とすることが妥当である。

#### ⑤一般社団法人 IKI ZEN

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの意見

- ・幅広い世代が興味を持てるよう、防災/減災に関しては、大学や専門家等との連携も検討してほしい。
- ・イベント開催に関して様々な広報アプローチを行い、外国人コミュニティーとの繋がりも持てる事業となることを期待したい。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 50 万円とすることが妥当である。

#### ⑥特定非営利活動法人珀杜

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの意見

- ・蜂対策については、万一の場合を想定した万全な対策について、今後さらに貴団体が協議していただく必要があると判断する。手厚い蜂対策を含め、安全対策の強化を検討してほしい。
- ・学校林を地域住民の交流の場として活用することに関しては、関係機関等との事前調整や協力体制を強化したうえで行ってほしい。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 15 万円とすることが妥当である。その際、安全対策の強化等を踏まえ、事業計画、予算について改めて検討してもらうこととする。

#### ⑦定禅寺リビングストリートプロジェクト

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの意見

- ・広報について、チラシだけでなくメディアも活用し、地域外の方々へ幅広くその魅力を発信できるよう期待したい。
- ・地域のシンボルである定禅寺通りを活用した活動を通して、引き続き幅広い世代の方が安心して利用できる環境を目指してほしい。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 50 万円とすることが妥当である。

⑧一般社団法人 アート・インクルージョン

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの意見

- ・活動報告書については、貴団体内予算で作成できるようグッズ売上等の収入を増やす方策を検討してほしい。
- ・数多くのイベント開催により貴団体の周知はできつつあるため、今後は商店街との協働等をさらに検討し、地域に広がりのある事業となることに期待したい。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 25 万円とすることが妥当である。その際、イベントの具体的内容や開催場所等を踏まえ、事業計画、予算について改めて検討してもらうこととする。

4 閉会